

牛久市 第4期 **環境基本計画**
牛久市地球温暖化対策実行計画

概要版

豊かな自然を守り育てる 優しさのあるまち

USHIKU CITY



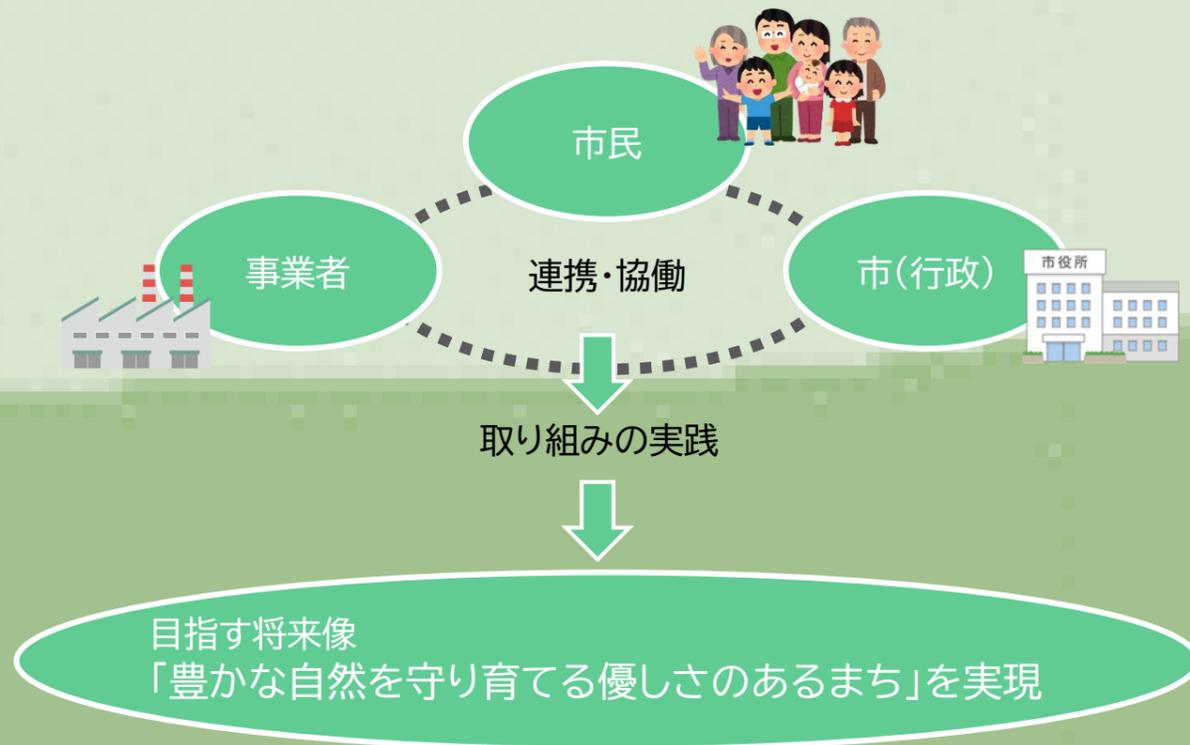
「豊かな自然を守り育てる優しさのあるまち」を目指して

私たちのまち牛久市は、霞ヶ浦に流れ込む小野川や牛久沼に流れ込む稲荷川をはじめとする水辺や筑波山を望む緑豊かな里山に囲まれ、自然と調和した潤いのある生活を育んできました。

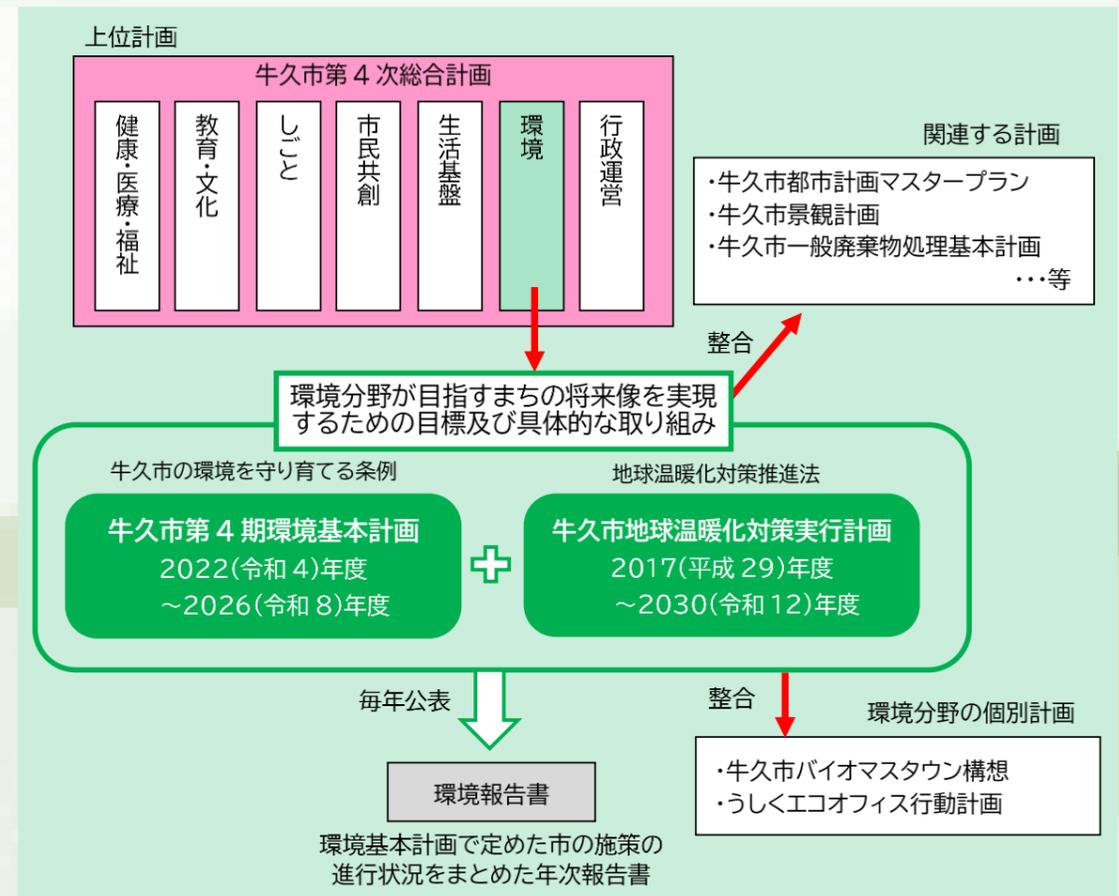
しかしながら、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済活動によって物質的な豊かさや生活の利便性が高まる一方で身近な自然環境への負荷が増大しており、私たちは自分自身が環境を構成する一員であることを認識したうえで、今すぐ環境の保全及び創出に努め、環境と共生できる社会の実現に努める必要があります。

本市はこれまで、2008(平成20)年3月に「バイオスタウン構想」を茨城県で最初に公表し、再生可能な生物由来の資源であるバイオマス燃料を燃料化し、近隣市町村で活用することで「地域循環型社会」の構築に取り組んできました。さらに近年急激に進行している地球温暖化に歯止めをかけるべく、2050(令和32)年までに温室効果ガスである二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を2020(令和2)年7月に表明したところです。

「バイオスタウン」と「ゼロカーボンシティ」という2つの目標を実現し、私たちが将来にわたって様々な恵みを楽しむため、本市では「牛久市第4期環境基本計画」の策定及び「牛久市地球温暖化対策実行計画」の改定を行い、国際社会が2030(令和12)年度までに達成すべき持続可能な開発目標(SDGs)との関係を整理しつつ、市民・事業者・市(行政)の各主体の連携・協働による取り組みの実施を通じて、持続的発展が可能な社会の構築と牛久市第4次総合計画の環境分野において目指すまちの将来像「豊かな自然を守り育てる優しさのあるまち」の実現を目指します。



● 牛久市第4期環境基本計画及び牛久市地球温暖化対策実行計画の位置づけ



● 持続可能な開発目標(SDGs)

SDGs が目指す17の目標(ゴール)の全てが直接的または間接的に環境に関連するとされています。SDGs は、「経済・社会・環境」の3つの側面がバランスの取れた形で目標達成することを目指しており、環境問題の解決が社会問題の解決や経済の発展に結びついていくとしています。



牛久市第4期環境基本計画における基本目標及び目標達成に向けた取り組み

第4期環境基本計画では5つの基本目標を設定しています。基本目標1は自ら考えて環境に配慮した行動をとることができる「人づくり」及び「仕組みづくり」を目指しており、基本目標2～5の達成に向けた具体的な行動へと結びつける重要な基盤となります。また、基本目標2～5の達成に向けた行動の実践は基本目標1に掲げる環境への意識をさらに高めることにつながるという相互作用があります。

基本目標2 生物多様性と豊かな自然を守り育てるまち

目指す姿 様々な主体が協働し、里山をはじめとする自然環境の保全及び創出に取り組む

- 市民**
 - 自然観察会などに参加し、地域の自然について学びましょう。
 - 地域の緑化活動や里山の保全活動に参加しましょう。
- 事業者**
 - 地元産の農産物の販売や購入を通じ、地域の農業を応援しましょう。
 - 敷地内での樹木や花の植栽などの緑化に取り組みましょう。
- 市(行政)**
 - 生物多様性について周知を図り、保全対策を進めます。
 - 森林・農地の保全と活用を図ります。
 - 公園や緑地等を適正に管理し、市民主体の緑化活動を支援します。

基本目標4 無駄なく資源が循環する美しいまち

目指す姿 無駄なく資源を活用するために、ごみの発生抑制、減量化、再使用、分別による資源化を徹底する

- 市民**
 - 生ごみについて、食品ロスを出さない買い物や調理を心がけ、ごみの発生自体を減らすとともに水切り等の減量化を徹底しましょう。
 - マイバッグやマイカップなど再利用できるものや、環境に配慮した商品を選びましょう。
- 事業者**
 - 可燃ごみの分別を徹底し、資源化を図りましょう。
 - 地域の資源物回収に協力するとともに、美化活動に積極的に参加しましょう。
- 市(行政)**
 - 家庭ごみ及び事業系ごみの減量化・資源化に関する情報の周知・啓発を行います。
 - 不法投棄を未然に防ぐためのパトロール等を実施します。

基本目標1 環境への意識が高いまち

目指す姿 環境について全ての人々が学び、考え、身近なところから確実に行動を実践する

- 市民**
 - 環境問題に関心を持ち、市が実施する行政情報出前講座や生涯学習講座、タウンミーティングなどの行事に参加しましょう。
 - 市のホームページや広報紙だけでなく、FacebookやTwitterなども活用し、情報収集を行いましょう。
- 事業者**
 - 環境に関するイベントや地域の環境保全活動などのボランティア活動に積極的に参加しましょう。
- 市(行政)**
 - 小中義務教育学校における学習プログラムの実施や生涯学習講座の開催を通じ、環境教育・学習を推進します。
 - 環境保全活動の支援を行います。
 - 市民や事業者にわかりやすく情報の発信を行うとともに意見交換を活性化します。

基本目標3 ゼロカーボンシティ(脱炭素社会)を目指すまち

目指す姿 一人ひとりが積極的に省エネルギー対策を実施し、再生可能エネルギーの利活用を推進する

- 市民**
 - エネルギー使用量を把握し、今すぐできる省エネルギーの取り組みを積極的に実践しましょう。
 - 原材料や物品またはサービスを購入する時はできる限り環境に配慮したものを選びましょう。
- 事業者**
 - 住宅や事業所を新築・改修する時や設備を導入・購入する際には、省エネルギー性能を重視しましょう。
 - 移動時には公共交通機関や自転車等を積極的に利用しましょう。自動車を運転するときはエコドライブを徹底しましょう。
- 市(行政)**
 - 公共施設における省エネルギー対策の実施とともに市民や事業者の省エネルギー化を支援します。
 - 公共施設において太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーの利活用を推進するとともに市民や事業者の再生可能エネルギーの導入を支援します。

基本目標5 笑顔あふれる安全で快適に暮らせるまち

目指す姿 安全で安心な市民の生活環境及び事業活動の基盤を維持する

- 市民**
 - 日常生活や事業活動において適切に排水対策を実施し、河川の水質汚濁を防ぎましょう。
 - 日常生活や事業活動において騒音・振動・悪臭等を発生させないように心掛けましょう。
- 事業者**
 - 事業者は公害対策に関する調査に協力し、市民は情報収集に努めましょう。
 - 動物を飼う時は、責任を持って飼育のルール・マナーを守り、終生にわたり飼育しましょう。
- 市(行政)**
 - 大気や交通騒音・振動に関する調査などを実施します。
 - 下水道整備や環境配慮型の合併処理浄化槽設置補助などの排水対策を実施します。
 - 動物の飼育ルールやマナーについて啓発を行います。
 - 放射性物質に関する測定活動を継続し、情報発信を行います。



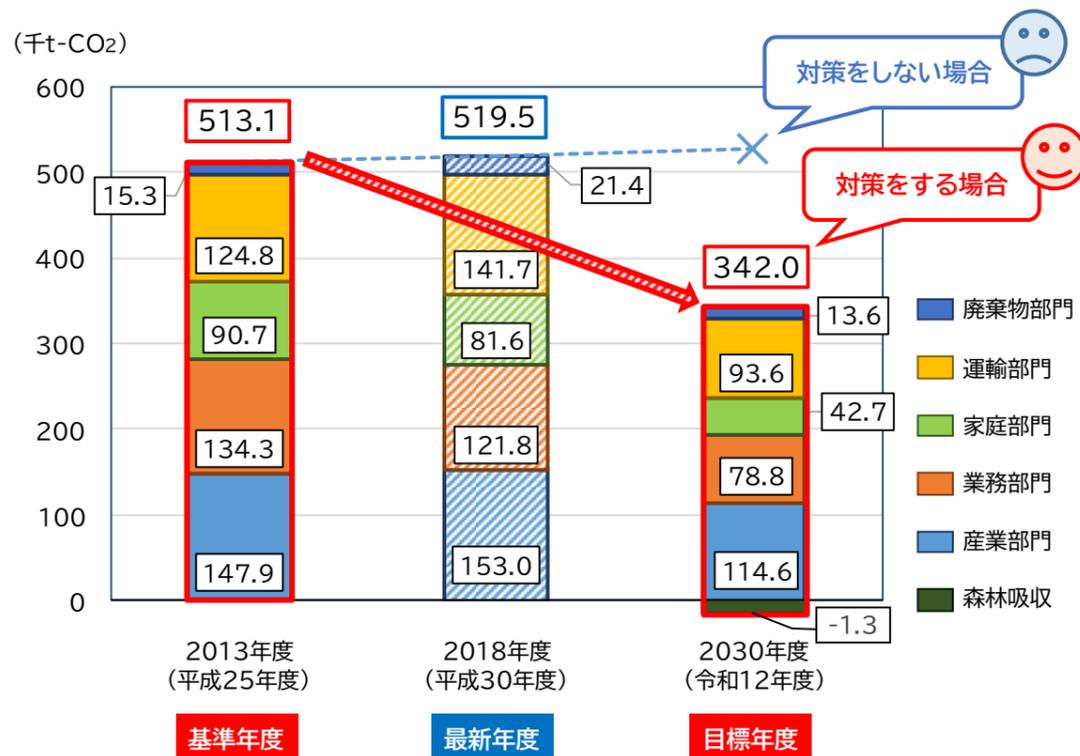
牛久市地球温暖化対策実行計画に基づく「ゼロカーボンシティ」への取り組み

近年、地球温暖化により気象災害の頻発化及び甚大化をはじめ、感染症や熱中症リスクの増大、海面上昇による国土消失の危機など様々な問題が世界全体で起きています。

このまま何も対策を取らないと世界の平均気温は上昇し続け、最悪の場合は5.7℃上昇するとも言われています。私たちは今すぐ地球温暖化の原因となる温室効果ガスの大幅な排出量削減に取り組まなければなりません。

牛久市の温室効果ガス排出量の現況と将来推計

本市の2018(平成30)年度の温室効果ガス排出量は、基準年度の2013(平成25)年度に比べ、約1%増加しています。このまま、何も対策をしなければ、温室効果ガス排出量は増え続けます。



廃棄物部門…家庭や事業者が排出するごみの焼却処分に伴う排出量
 運輸部門…自家用車や旅客自動車、貨物自動車などの運行に伴う排出量
 家庭部門…住宅における電気やガスの使用に伴う排出量
 産業部門…農業・林業などの第一次産業及び製造業・建設業などの第二次産業の生産活動における排出量
 業務部門…行政機関や小売業をはじめとするサービス業などの第三次産業の事業活動における排出量
 森林吸収…森林の整備に伴う吸収量

「ゼロカーボンシティ」の表明

温室効果ガスの削減には、市民・事業者・市(行政)がそれぞれ自発的に取り組みを実践することが必要不可欠です。本市では各主体の連携及び協働のもと、SDGsの考え方にに基づきながら2050(令和32)年度までに温室効果ガスのほとんどを占める二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明し、認定を受けました。

牛久市地球温暖化対策実行計画では、2030(令和12)年度の中間削減目標及び目標達成に向けて各主体が実践すべき取り組みや施策について掲げています。

計画における目標値

本市では、長期的には2050(令和32)年度に温室効果ガス排出量ゼロを目指しつつ、2030(令和12)年度の削減目標を以下のとおりとします。

本市における温室効果ガス排出量の削減目標

2030(令和12)年度までに
2013(平成25)年度比**33.3%**削減

※削減目標は今後期待される新たな技術の開発・導入の状況を踏まえながら、5年ごとに見直すものとします。

ゼロカーボンシティの実現に向けて、今すぐ取り組もう！

一人ひとりの取り組みによる削減量は小さくても、多くの人取り組みを実践すれば削減量は大きくなります。今すぐできることから確実に実践しましょう。



省エネルギー化を進めましょう

日々の暮らしの中で工夫しながら無駄なエネルギー消費を減らすとともに、環境への負荷が少ない製品やサービスを積極的に選択しましょう。

再生可能エネルギーを活用しましょう

太陽光発電や住宅用蓄電システムの設置、使用する電力の再生可能エネルギー由来のものへの切替などを進めましょう。木質ペレットや薪を燃料とするストーブを活用しましょう。

移動や輸送をエコにしましょう

出来る限り自動車の利用を控え、徒歩や自転車、公共交通機関等を利用しましょう。また、自動車を運転する時はエコドライブを心がけましょう。その他、食品等の地産地消を心がけたり、宅配便の再配達など輸送の無駄を減らしましょう。

資源の無駄をなくしましょう

環境負荷が小さい製品やサービスを選択し、使い捨てプラスチック商品の使用を控えましょう。また、本来食べられるのに食べきれずに捨てられてしまう食品ロスをなくしましょう。

地球温暖化の影響に備えましょう

地球温暖化により引き起こされる気象変動の悪影響に対し、ハザードマップを確認するなど防災対策を進めましょう。また、健康被害の備えとして、熱中症予防や感染症対策を行うとともに情報収集に努めましょう。

みんなでやってみよう！



未来の
ために、
いま選ぼう。

日常生活で実践できる温室効果ガスの排出削減に向けた製品やサービス、行動を賢く選択する国民運動「COOL CHOICE」はすぐに実践できるものばかりです。一人ひとりの取り組みによる効果は小さくても、多くの人実践することで効果は大きくなります。自分でもできそうな取り組みから始め、家族や友人など一緒に取り組む仲間を増やしましょう。



照明や電化製品の省エネ



照明や電化製品は必要な時だけに。また、白熱電球をLED電球に交換しましょう。

クールビズ・ウォームビズ



エアコンの冷房は28℃、暖房は20℃を目安に。また、季節に応じた服装で調整しましょう。

省エネ性能の高い製品の選択



家電製品を選ぶ時は、省エネ性能を示す「統一省エネラベル」を参考に。

スマートムーブ・再配達抑制



公共交通機関やカーシェアなどを積極的に利用しましょう。また、宅配便の受け取りは1回で。

エコドライブ



発進時には、ふんわりアクセル「eスタート」で。また、無駄なアイドリングはやめましょう。

エコショップの利用



環境にやさしい商品の販売やごみの減量化に取り組んでいるエコショップを積極的に利用しましょう。

地域の環境活動への参加



地域の美化活動へ参加したり、行政区や子ども会などが行う資源物の集団回収へ協力しましょう。

緑化の推進



公園・緑地の維持管理や屋上・壁面緑化に取り組みましょう。

再生可能エネルギーの活用



太陽光やバイオマス燃料などの再生可能エネルギーを活用しましょう。

令和4年3月

編集・発行：牛久市環境経済部 環境政策課
〒300-1292 茨城県牛久市中央3-15-1
電話 029-873-2111



牛久市環境ホームページ